

2020年3月12日

各位

会社名 株式会社ミスターマックス・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 平野 能章
(コード番号 8203 東証第一部、福証)
問い合わせ先 取締役執行役員経営企画室長 鳥越 寛
(TEL 092-233-1379)

2020年2月期通期連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

当社グループは、2019年4月11日に公表した2020年2月期通期の連結業績予想および配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2020年2月期 通期連結業績予想数値の修正(2019年3月1日～2020年2月29日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	119,390	2,820	2,790	1,930	58.14
今回修正予想(B)	122,200	2,300	2,100	1,200	36.15
増減額(B-A)	2,810	△520	△690	△730	
増減率(%)	2.4	△18.4	△24.7	△37.8	
(ご参考)前期実績 (2019年2月期)	118,744	2,746	2,705	2,249	67.76

(注)2020年2月期より、従来「営業外収益」に計上しておりました営業活動に伴う手数料収入を、「その他の営業収入」に計上しております。本資料では、2019年2月期の営業収益および営業利益は、同じ基準で組み替えた数値を記載しております。

(2) 修正の理由

2019年10月からの消費税増税に対応した販促セールなどが功奏し、営業収益は計画を上回る見込みとなりました。

利益面では、増税前特需で家電製品や日用消耗品などの利益率の低い商品群の売上構成が増えたことや、7月の長雨や暖冬の影響などで季節商品の売上が振るわなかったことで、荒利益率が低下したこと、キャッシュレス決済比率の上昇や販促費の増加などで経費が増えたことにより、

営業利益は計画を下回る見込みです。

加えて、店舗閉鎖や改装にともなう費用の計上などにより、経常利益・親会社株主に帰属する純利益についても下方修正いたします。

2. 配当予想について

(1) 配当予想の修正

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回配当予想 (2019年4月11日発表)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 18.00	円 銭 18.00
今回修正予想	—	—	—	14.00	14.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (2019年2月期)	—	0.00	—	19.00	19.00

(2) 修正の理由

当社は、配当の継続を重視しており、会社の経営成績および財政状態ならびに今後の見通し等を総合的に勘案しながら、配当性向 30%を目途に安定的な配当の実施を行う方針です。

この方針に基づき、通期の業績予想について計画を下回る見込みとなりましたため、1株当たり配当金(期末配当金)を前回予想より4円減配し、14円に修正いたします。

(注)本資料における業績予想および配当予想は、本資料発表時点において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績および配当は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上